

愛知登文会ニュース 第36号

令和6年2月10日号

■ 事業実施報告「あいちのたてもの博覧会 2023（あいたて博 2023）」

登録有形文化財を対象に実施してきたあいたて博ですが、今年度からは重要文化財や未指定の建物も含め、より多くの魅力的な建物で開催することとし、愛知登文会とあいちヘリテージ協議会、なごや歴史まちづくりの会の3者で実行委員会を立ち上げ、新たな事務局体制のもとで実施しました。

9/13のオープニングトークを皮切りに、10/13からのプレミアム企画、11/4からの一斉公開と17日間、69企画、81建物で開催したあいたて博2023が、7つのコラボ企画もあわせ無事終了しました。建物解説にはのべ1,306名、自由見学には約400名の方にご参加いただきました。



◆オープニングトーク・クロージングトーク

オープニングトークではあいたて博の見どころなどを紹介、クロージングトークでは最終日にライブ中継であいたて博を振り返りました。どちらもYouTubeで視聴可能です。



オープニング
トーク



クロージング
トーク



あいたて博
WEB サイト

【プレミアム企画】

◆10月13日(金)～11月26日(日) -11日間13企画

これまでの開催で人気の高かったツアーに加え、じっくり建築を堪能できる専門家によるツアーをはじめ、素敵な建物の中で食事やコンサートを楽しむことができる企画です。抽選方式で応募倍率が3.4倍となる企画もあり、参加者から「普段入ることができないところを見ることができ、一般の見学では気が付かないところの解説も聞くことができてよかった。」との声もいただきました。



所有者＆専門家による解説（昭和塾堂）



専門家による解説（東松家住宅）



専門家による解説（南山大学）



団らんのひと時（川原田家住宅）



まち歩きの様子（常滑）



琵琶コンサート（川田家住宅）

【一斉公開】

◆11月4日(土)～名古屋市・一宮市～

初参加 4 件を含む 9 件の建物を公開。初参加の中産連ビルは早々に予約が埋まる人気で、「説明がわかりやすく、建物(所有者)の方からのおもてなしの心もうれしかったです!」「建物への愛が溢れていて、それが見ている側にも伝わり、よい時間が過ごせました!」との感想が寄せられました。



屋上も公開（中産連ビル本館）



合掌造の建物内部（白雲閣）



専門家による解説（Re-TAIL）

◆11月5日(日)～北尾張地方・清須市～

初参加 1 件を含む 7 件の建物を公開。初参加の報光寺は尾張の名工伊藤平左衛門が手掛けたもの。6 回目の開催となる寂光院はこちらも尾張の名工竹中家が手掛けたもの。どちらも「あいちのたてもの いのりのば編」でも紹介した見ごたえある建物で、専門家の方に解説いただきました。



専門家による解説（報光寺）



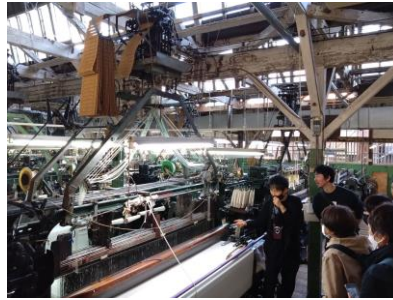
隋求堂の内部（寂光院）



所有者による解説（柴田家住宅）

◆11月11日(土)～西尾張地方～

3件の建物を公開。葛利毛織工業では、所有者の方に工場、事務所、倉庫などを案内いただくとともに、実際に織機が稼働する中、生地ができるまでをわかりやすく説明いただき、参加者から「仕事に対する熱意を感じた」との感想もいただきました。



現役のノコギリ屋根工場（葛利毛織工業）



湊屋倶楽部が管理（旧湊屋）

◆11月12日(日)～西三河地方～

初参加3件を含む11件の建物を公開。初参加となった珈琲館杉浦邸では東京から所有者の方が来ていただき、数年ぶりにあかりが灯った喫茶店は、前を通る方から「また開店するの?」と聞かれるほど魅力的な輝きを放っていました。日本福音ルーテル岡崎教会の様子はケーブルテレビで紹介されました。



所有者の方のもてなし（珈琲館杉浦邸）



ケーブルテレビの取材（ルーテル岡崎教会）



土間ではミニライブも（旧石原家住宅）

◆11月18日(土)～知多地方～

初参加1件を含む9件の建物を公開。初参加となった久野家住宅では愛知淑徳大学の学生による西村伊作や建物の解説のあと、所有者によるガイドツアーが行われ、多くの参加者で賑わいました。知多岡田では専門家、所有者、ガイドボランティアに協力いただき、4つの建物を巡るまち歩きツアーを行いました。



所有者による解説（久野家住宅）



専門家による解説（旧岡田医院）



（木綿蔵ちた・知多岡田簡易郵便局）

◆11月19日(日)～東尾張地方・蟹江町～

初参加7件を含む10件の建物を公開。瀬戸市では8つの建物を時間をずらして公開したことで、「歩ける範囲に見学する建物が有って良かった」とすべてを廻っていただいた参加者もおられました。永泉教会では「建築士の方の保存修理についての説明が大変興味深かった」との感想もいただきました。



専門家による解説（瀬戸永泉教会）



専門家による解説（愛陶工会館）



シェアハウスに住む学生（松千代館）

◆11月25日(土)～東三河地方～

初参加1件を含む7件の建物を公開。初参加となった豊橋ハリストス正教会聖堂は現在修復作業中で工事の様子を間近から見学、工事を担当されている方からお話をいただきました。豊橋市公会堂では建物解説の他に自由見学も設定し、「ゆっくりと楽しむことができた」と好評でした。



修復工事の様子（豊橋ハリストス正教会）



屋上（豊橋市公会堂）



旧配水池の内部（多米配水場）

◆11月26日(日)～名古屋市中～

初参加1件を含む5件の建物を公開。初参加となった旧伊藤耳鼻科医院は建物の制約から1回に5人しか案内できませんでしたが、「前から気になっていた建物だったから」「詳しい専門の方、所有者のお話、どれも面白く貴重な体験でした」と好評でした。



専門家による解説（旧伊藤耳鼻科医院）



専門家による解説（中村公園記念館）



専門家による解説（ルーテル復活教会）

【コラボ企画】

所有者との共催や他団体主催であいたて博と関わりが深い7つをコラボ企画として実施しました。中川運河ギャラリーではあいたて博期間中に「あいちのたてものイラスト展」が行われ、イラストを描いていただいた村瀬氏によるギャラリートークもあり、あいたて博を盛り上げていただきました。



あいちのたてものイラスト展



名古屋市政資料館



鶴舞公園

編集後記

規模を拡大して実施したあいたて博 2023。限られた紙面ではその一部しかご紹介できませんが、あいたて博を楽しんでいた様子が少しでも伝わればと思います。

マンパワーが限られていることから、十分対応できなかった点など反省すべき点も踏まえ、すでに次回の取り組みに向け検討をすすめています。2024 リーフレットのイラスト募集も行っています。我こそはと思う方はぜひご応募ください。詳細はあいたて博 WEB サイトをご覧ください。

愛知登文会ニュース 第36号

発行日：令和6年2月10日

発行者：愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会
〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目6番15号先

名古屋テレビ塔株式会社内

TEL 052-971-8546 FAX 052-961-0561

E-mail info@aichi-tobunkai.org

HP http://www.aichi-tobunkai.org

Facebook @aichi.tobunkai

Twitter @aichitobunkai

Instagram aichitobunkai



LINE
(自動応答)